

特集

# 安心・安全の要

## 大山町消防団



近年、異常気象などで多くの災害が発生しています。そんななか、本町の災害時に、現場で中心的な役割を担っている消防団。火災はもとより、風水害や行方不明者の搜索など、多方面に活動されています。今回の特集では、大山町消防団を取材した模様をお伝えします。



### 消防団の使命

#### 地域の安全・安心とまちづくり

昨年は、火災は少なかったそうですが、いつ大きな災害が起こるかわかりません。

各集落の自衛消防団との連携をはかるために、毎年各地区で夜間合同演習が行われています。「各集落や自衛消防団には、日ごろから有事の際の水源確保など、水利の管理をお願いします。また、自主防災組織の充実もあわせてお願いします。」とのことでした。

### 消防団の課題

#### 団員の確保・女性団員の増員

現在、消防団員は定員171人に対して157人で、14人の欠員となっています。うち3人が女性団員

消防団では日ごろから水利の確認と放水訓練を行っています。毎年行われる操法大会にも参加し、西部地区の代表として県大会にも出場されています。きびきびとした活動を見て、頼もしく感じました。

として在籍されています。

全分団とも後継者の確保が課題です。日中、仕事で町外に勤務されている団員も多く、緊急時に全員が集まらず、大災害のとき現場での人手不足が心配されます。これを少しでも減らすため、合併後には新たに大山役場分団もできました。

しかし、団員の高齢化も進んでいます。今後は隣接集落の協力もお願いしたいとのことでした。

また、女性団員を増員し、女性分団を組織したいそうです。

### 大山町消防団 体制

		名和分団			大山分団				計
第3分団	第4分団	第1分団	第2分団	第3分団	第1分団	第2分団	第3分団	第4分団	
樋口	役場	御来屋	御来屋	御来屋	大山口	妻木	佐摩	役場	157
15	14	13	12	12	15	14	14	14	3
				1					171
15	14	15	15	15	15	15	15	14	14
0	0	2	3	3	0	1	1	0	14